

No.	010	—	3001	事務事業名	危機管理関係事業				細事務事業名	災害時保健活動マニュアル策定事務				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--------	------------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	6 消防・防災体制の充実				主要施策	(1)危機管理部門の充実				
事業の対象	市民						根拠法令								
事業の目的	最終的	東温市の地域に係る災害時保健活動について定め、これを推進する事により、市民の生命、身体を災害から保護し、快適で安全・安心な暮らしができる質の高い居住環境づくりを進めます。					今年度	災害時保健活動マニュアル作成に向け、資料収集に努めます。							
活動内容	①	東温市地域防災計画に基づき、松山圏域医療対策協議会の検討事項等と連動したマニュアルとなるよう留意し、作成準備にあたります。					④								
	②	県内のマニュアル作成済みの自治体より資料収集を行います。					⑤								
	③														
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
				業務の性質上、指標設定になじまない				目標							
								実績							
								目標							
								実績							
								目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	計(A)	0 千円		0 千円		0 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.015 人	91 千円	0.018 人	108 千円	0.100 人	602 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		91 千円		108 千円		602 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	市が実施主体となって行うべき重要課題です。													
有効性	類似施策はなく、地域防災計画との整合性を踏まえた事業の継続は不可避です。													
達成度	国、県の上位計画との整合性をもった東温市地域防災計画により災害時保健活動マニュアルの策定が必要です。その性質上、適宜見直しが行われるものです。													
効率性	マニュアル策定は、低コストで策定可能であり、コスト削減は不要です。													
当面の課題	東温市地域防災計画に併せた、保健活動分野のマニュアル作成ができていません。													
改 革 計 画	東温市地域防災計画の見直しに併せ、庁内、庁外問わず、他機関等との役割を明確にし、災害時の対応に臨めるようにします。													
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		災害の種類、程度に同じものは一つもなく、関係者が一目して共通認識を持てるマニュアルの作成は不可能にも思われます。けれども、手をこまねいているわけにもいかず、発生の可能性の高い災害と被害を想定し、たとえ適用範囲が限定されるものであっても作っておく必要を感じます。特に、初動(災害発生直後)の取り組みを、関係者が共通認識できるものがあればよいと感じています。												

No.	010	—	3002	事務事業名	医師歯科医師等連絡調整業務				細事務事業名	東温市医師歯科医師連絡会ほか				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	---------------	--	--	--	--------	----------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進				主要施策	(1)保健事業推進体制の充実			
事業の対象	東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院						根拠法令							
事業の目的	最終的	東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院等との連携強化を図り、市民の健康づくりに関して科学的根拠に基づく保健事業を継続し展開します。				今年度	東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院と共催で開催している「健康フォーラム」については、東温市誕生10周年記念事業のひとつとして実施します。							
活動内容	①	年1回、東温市医師会、東温市歯科医師会会員の先生方と市関係部署が当該年度の事業報告と新年度事業に関し、協議を行います。				④								
	②	年1回、東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院と共催で健康フォーラムを開催します。				⑤								
	③													
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
	健康フォーラム参加人数		—			人	目標	250	300	250				
							実績	200	300					
							目標							
							実績							
							目標							
実績														

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	91 千円		1,448 千円		166 千円						
	計(A)	91 千円		1,448 千円		166 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.054 人	329 千円	0.263 人	1,581 千円	0.150 人	903 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		420 千円		3,029 千円		1,069 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	連絡会については、市と医師会、歯科医師会相互の関係を保つために必要であると考えます。												
有効性	連絡会、健康フォーラムを継続し開催していく中で、関係機関がお互いに顔の見える関係を構築し、それぞれの立場から市民への健康づくりに関する貢献度は高まると考えます。												
達成度	連絡会では、新規事業等の周知を行い、事業への協力を求める良い機会となっています。健康フォーラムでは、テーマを設定し、各参加機関が共通認識で臨めています。												
効率性	関係機関の人材等を活かしたものが多く、低コストでの実施が可能となっています。今年度は、東温市誕生10周年記念事業のひとつとして、関係機関協力の下開催できました。												
当面の課題	高齢化の急速な進行とともに医療ニーズはますます高度化、多様化しているほか、今後は、、保健、医療、福祉、教育が一体となった幅広いサービスが求められることが予想されるため、医療機関、保健・福祉機関との連携・協力体制の一層の強化を図る必要があります。												
改計画	恵まれた医療環境を活かし、市民にとって有益な体制づくりのため、今後も連携強化に努めます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	本格的な少子高齢社会を迎え、保健・福祉・介護・医療等のニーズは益々増大多様化しており、東温市の恵まれた医療福祉環境を最大限活用した行政サービスが提供できる体制づくりが期待されております。引続き、市内医師会・歯科医師会をはじめ愛媛医療センター、愛媛大学医学部等との連携を深め、市民がより安心して暮らせる医療と健康のまちづくりに向けた施策の展開が望まれます。また、医師会等の主導で毎年開催しています健康フォーラムは、市民との交流の場でもあり、今後も親しみやすいイベントとして継続実施が望まれます。												

No.	010	—	3003	事務事業名	保健事業推進事務				細事務事業名	衛生委員関係等事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--------	-----------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	成人保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進				主要施策	(1)保健事業推進体制の充実				
事業の対象	自治区長より推進を受け、市長が委嘱した衛生委員（73名）						根拠法令	東温市衛生委員設置要綱							
事業の目的	最終的	みんなが元気になる健康福祉のまちづくりの推進のため設置された衛生委員の活動を事務局として支援します。					今年度	衛生委員の活動の目的と実績がそれぞれの委員さんに理解いただけるよう、研修内容を工夫します。							
活動内容	①	年度末に地区の自治区長へ翌年度の衛生委員推薦依頼を行い、推薦された委員に市長が委嘱する事務を行います。					④	年度末に報償費を支払います。							
	②	年2回程度の研修会を実施し、健康づくりに関する講演、情報提供、意見交換により衛生委員活動の活性化に努めます。					⑤								
	③	主な活動の一つである年間を通じた母子及び成人の各種健康診査等における協力について、活動が円滑に行えるよう計画的に依頼します。													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
				業務の性質上指標設定にはなじまない				目標							
								実績							
								目標							
								実績							
								目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	2,269 千円		2,288 千円		2,303 千円							
	計(A)	2,269 千円		2,288 千円		2,303 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.032 人	195 千円	0.032 人	192 千円	0.030 人	181 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,464 千円		2,480 千円		2,484 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	地域の健康づくりのリーダーとしての役割があること、地域ぐるみで健康づくりに取り組む必要があることを研修会やそれぞれの活動の場面で理解していただくよう努めました。												
有効性	各種健康診査や健康講座など市の事業へ衛生委員さんからの参加、受診呼びかけ等に地区のみなさんの反応があり、地域でのより身近な支援者として活動いただいていると感じます。												
達成度	衛生委員活動としては概ね目標達成できていると思います。												
効率性	衛生委員さんにより地域の健康づくりは地域みんなでしていこうという意識が市民全体に伝わることを期待しています。												
当面の課題	衛生委員さんの活動が市の事業に協力することで、具体的に市民の健康づくりや、福祉の向上にどのように結びついているか、研修会での活動実績報告などにおいて理解を得られるよう資料や研修内容を工夫していきます。												
改計画	任期が一年であり、活動内容が十分に理解できないまま委員交代していることも多いなか、効果的に委員活動が展開できるよう計画します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		市民の健康づくりは、行政の活動だけでは不十分で、地域における推進役として衛生委員の協力が不可欠です。市が主催する集団健診や保健衛生の各種行事の市民への周知や参加勧奨等で協力を得ており、行事が円滑に実施できています。今後、これに加えて各地区での自主的な取り組みがより活発になることを期待して、他市町の取り組みを参考にしながら、衛生委員の任期や役割について調査し、情報を提供することが必要だと考えます。											

No.	010	—	3004	事務事業名	健康増進計画推進事業				細事務事業名	健康増進計画推進事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--------	------------	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	健康推進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進				主要施策	(1)保健事業推進体制の充実			
	事業の対象	全市民							根拠法令	健康増進法					
	事業の目的	最終的	健康寿命の延伸、健康格差の縮小						今年度	2次計画推進のための、具体的な取り組みを決定します。					
	活動内容	①	関係組織、機関の代表者で組織する「健康づくり推進協議会」を開催し、第2次健康増進計画の推進に関して関係団体の意見を取りまとめ、取り組みに反映させます。						④						
		②	作業部会として組織する「老成人保健推進部会」、「母子保健推進部会」で2次計画推進等に関する検討をします。						⑤						
		③	2次計画の推進と現状課題の整理作業を行います。												
	成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
		健康づくり推進協議会、部会開催回数			計画の推進状況の評価、課題について、関係機関で検討するための機会をもつ			回	目標	7	6	6			
実績									7	6					
							目標								
							実績								
							目標								
							実績								

D O	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		平成25年度決算額については、健康づくり推進協議会の報酬と第2次健康増進計画策定業務の委託料が含まれているが、当該計画策定業務は第2次食育推進計画策定業務と契約を一本化しており、委託料の按分が不可であるため、合計金額を入力している。					
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	4,102 千円		188 千円		240 千円							
		計(A)	4,102 千円		188 千円		240 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,828 千円	0.265 人	1,593 千円	0.265 人	1,596 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		5,930 千円		1,781 千円		1,836 千円								

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	地域保健係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）													
	必要性	保健事業を効果的、効率的に実施するためにも、計画に策定時の課題を継続して整理し、事業実施、評価に活かしていくためには、関係者との協議が必要です。													
	有効性	健康課題に関して、関係機関での取り組みを情報交換し、連携を深めていくことでより、効果的な計画の推進が見込めます。													
	達成度	1つの健康課題に関して、関係機関の取組みや現状について情報交換し、計画の推進に努めています。													
	効率性	部会、協議会で情報交換することで、効率的な事業展開が期待できます。													
	当面の課題	計画の効果的な推進のためには、協議と健康課題の整理を続け、関係機関と協議する必要があります。													
	改 革 画 計	年度ごとに重点的に取り組む内容を決めて、課題解決に取り組めます。													
	二次評価者	健康推進課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項		計画の進捗状況を確認するためには、目標設定した指標を追跡調査する必要がありますが、全てを新たに独自調査する時間や人手の余裕もなく、その困難さを感じます。結局、他機関の統計も含めて色々な統計数値を探って、進捗度を測定することとなりますが、国や県の全体数値ではなく、身近な東温市の実情を窺い知ることができる数値を導き出し、更にそれをもとに課題整理をし、次の取り組みの検討まで市の実態に即して行っていることが大変意義深いものと感じています。												

No.	010	—	3006	事務事業名	食育推進事業				細事務事業名	食育推進事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(8)「食育」の推進				
事業の対象	市民、地域、職場、学校、生産者、事業者及び行政等						根拠法令	食育基本法、東温市食育推進会議条例							
事業の目的	最終的	東温市の食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項について継続して検討します。				今年度	食育推進計画に基づく各種施策の実施状況の確認、委員からの意見を各部署に繋げるよう努めます。								
活動内容	①	食育推進会議を必要に応じて開催します。				④									
	②	食育推進会議で各部署が取り組んでいる食育事業の内容や実施方法等について、関係団体代表者等と意見交換を行います。				⑤									
	③														
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	会議開催回数		開催（予定）回数			回	目標	4	3	2					
							実績	3	3						
							目標								
							実績								
							目標								
実績															

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		平成25年度決算額については、食育推進会議の報酬及び派遣手数料と、第2次食育推進計画策定業務の委託料が含まれているが、当該計画策定業務は第2次健康増進計画策定業務と契約を一本化しており、委託料の按分が不可であるため、委託料については、全額を入力している。					
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	3,882 千円		148 千円		160 千円							
	計(A)	3,882 千円		148 千円		160 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.524 人	3,193 千円	0.213 人	1,281 千円	0.213 人	1,283 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		7,075 千円		1,429 千円		1,443 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	地域保健係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市の食育事業は多方面にわたるため、いただいた意見等の調整・施策への反映等を行うことから、市が行う必要があります。												
有効性	多方面からの意見等をいただき、市の食育事業に取り入れることで、その効率や効果の向上が期待できます。												
達成度	会議の意見は可能な限り食育事業に反映するようにしています。												
効率性	食育事業を効率よく、かつ、効果的に進めていくことを目的に実施していますので、その効果が期待できます。												
当面の課題	会議を開催することが目的になりつつあり、実践的な取組みの実施について協議していくことが必要です。												
改 革 計 画	食育推進会議の協議では、行政の取組みのみでなく、関係機関の取組みも併せて協議を行うことで、各種団体と一体となった食育推進の連携体制をとれるよう検討していきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	食育推進会議で議論されるのは、行政の取組みについてばかりです。市民レベルで食育がどのように実践され、また、どうすればそれが把握できるのかといったことが気になります。食育基本法は、食育が国民的運動となることを期待していますが、残念ながら、国民や市民の意識はそこまで到達していないと感じます。それは、法律制定時に比して食を巡る問題が沈静化したためかも知れません。けれども、市民の健康の保持増進や生活習慣病について考えたとき、食育は継続しなければならない業務で、根気強く啓発を続ける必要を感じます。												

No.	010	—	3007	事務事業名	骨髄バンクドナー支援事業			細事務事業名	骨髄バンクドナー支援事業			公的関与	2
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--------	--------------	--	--	------	---

P L A N	課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	26年度	～	年度
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	(7)難病・感染症対策の推進		
	事業の対象	骨髄バンクドナー登録者で、骨髄等の提供を行った市民							根拠法令				
	事業の目的	最終的	骨髄移植認定施設(愛媛大学医学部附属病院)が立地する市として、ドナー及び家族の経済的負担を軽減し、骨髄等提供の機会やドナー登録の増加を図ることで、市民が安心して暮らせることを目的とします。					今年度	骨髄バンクドナー支援事業の継続的な周知活動及び申請者の増加				
	活動内容	①	骨髄バンクドナー支援事業の広報活動(広報、ホームページ等での周知等)					④					
		②	骨髄等提供者への助成					⑤					
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
		申請件数	申請 (予定) 件数				件	目標	—	2	2		
実績								—	0				
							目標						
							実績						
							目標						
	実績												

D O O	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
	直接事業費		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	0 千円		0 千円		200 千円						
		計(A)	0 千円		0 千円		200 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.015 人	90 千円	0.015 人	90 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円		90 千円		290 千円						

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	公共性が高く、民間ではサービスの提供が難しいため、市が実施する必要があります。												
	有効性	骨髄等提供時にかかる入院・通院時の経済的負担を軽減することで、提供の機会やドナー登録者の増加に期待ができます。												
	達成度	事業の周知を継続して行うことで、申請件数の増加を目指します。												
	効率性	市民が安心して暮らせる環境づくりを行う上で、骨髄等提供の機会やドナー登録者の増加は効果的であり、入院・通院の日数から助成額も妥当です。												
	当面の課題	骨髄等の提供を行った市民が、個人情報との関係でどれだけのいるのか把握することができないため、個別にお知らせ、制度利用を促すことが出来ません。												
	改 革 計 画	広報やホームページ等の媒体をできるだけ活用し、事業の周知を引き続き行っていきます。												
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項		骨髄提供者の存在自体が少なく、結果はやむを得ないものと思われます。国がもっと力を入れるべき事業と考えます。											